



教えてJ.Aさん！ Q & A

Q

日本は長らくインフレ傾向にありますが、私たちの生活にはどのように影響していますか？

(伊勢市 60歳・女性)

A

徐々に日用品やサービス、エネルギー原料などの値段が上がり、家計の消費の負担が増えています。

インフレの理由

新型コロナウイルス感染症やロシアによるウクライナ侵攻、そして昨今の円安の影響で原油をはじめとした原材料や食料品の値上げが相次いでいます。

2022年10月消費者物価指数(生鮮食品を除く)は、1年前に比べ+3.6%と、第二次オイルショックの影響が続く1982年2月以来の水準となっています。また、半導体不足で新車が手に入りにくく

2023年2月に
4500品目もの値上げ

中古車市場も過熱するなど、私たちの生活に影響を及ぼしています。

帝国データバンクの「食品主要105社」価格改定動向調査(12月)によると、2023年2月には約4500品目の値上げが決まっております。値上げ率は平均17%とのこと。特に、砂糖や食用油の高騰で醤油やドレッシングなどの調味料が平均20%、食肉や水産品の高騰で冷凍食品が平均18%

も値上げされることは目を引きます。輸入ワインやウイスキー、焼酎も同様です。なお、2022年は2万822品目、平均14%の値上げでした。当面は値上げラッシュが続くと覚悟しなければなりません。

インフレに備えるには

このようなインフレ下では、1円でも安いものを、と特売品に目が行きますが、それだけでは家計は楽になりません。

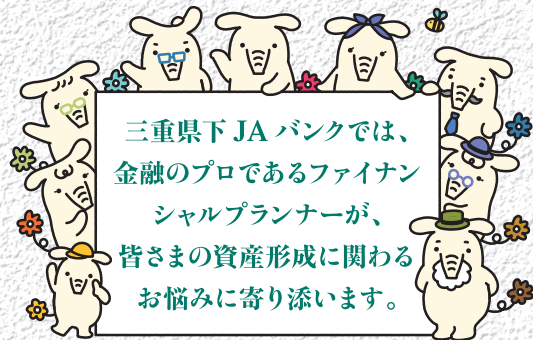
例えば、携帯電話の料金プランの見直しで月々の負担を減らす、ふるさと納税の返礼品をお米やティッシュ等の生活必需品にするなども一手です。できるだけストレスを感じずにできる工夫を心がけましょう。また、インフレ下ではお金の価値がどんどん目減りします。資産の一部を投資信託などで運用することも検討したいところです。

資産形成のこと お気軽にご相談ください!!

投資信託
とは？

老後
2,000万円
問題とは？

NISA、
iDeCoとは？



※三重県下 JA では、投資信託を販売しています。
JA みえきた / JA 鈴鹿 / JA 津安芸 / JA みえなか / JA 多気郡 / JA 伊勢 / JA いがふるさと
※悩みごとがあれば、お近くの JA までご相談ください。